

授業紹介<絵・彫・デ・工・映・他>

『 芸術合同発表 南の風展 』

高知県立高知南高等学校

美術担当 笹岡 伸行

工芸担当 山砥 誠

学校紹介・特色

実施した高知県立高知南高等学校は、高知市中心部にある中高一貫校であり、高等学校には普通科の他、国際科学科、国際教養科が設置されている。

芸術は音楽、美術、書道、工芸の4科目に別れておりその中から1科目を選択して授業を行う。芸術の選択が音楽、美術、書道の3科目が主流の高知県内の高校のなかで工芸の選択が存在する数少ない高校のひとつである。カリキュラムは1年次に芸術Ⅰ（選択必修）2年次に芸術Ⅱ（選択科目）3年次に芸術Ⅲ（選択科目）となっており全員ではないが3年次まで芸術の授業が存在するので系統立てた授業が行える。

芸術合同発表「南の風展」について

3年次の芸術選択生は3年間の集大成として例年12月に卒業制作展として「南の風展」に作品を出品し、美術、書道、工芸と合同で展覧会を行う。なお、音楽選択生については展覧会のオープニングコンサートとして初日にステージ発表を行っている。芸術合同発表「南の風展」は高知南高校独自の取り組みである。芸術選択生徒は決して美術・工芸が得意で、将来は芸術関係に進学を希望する者たちではない。しかし、生徒たちは三年間制作を続けることにより大きな成長を見せ、また、卒業制作展という発表する場を持つことで生徒たちにとって非常に有意義な芸術活動となっている。この取り組みを通じて、生徒たちに見る人を意識した制作を行わせ、作品制作から会場づくり、展示まで、展覧会における一連の行程を理解し、取り組ませる。



作品展示風景



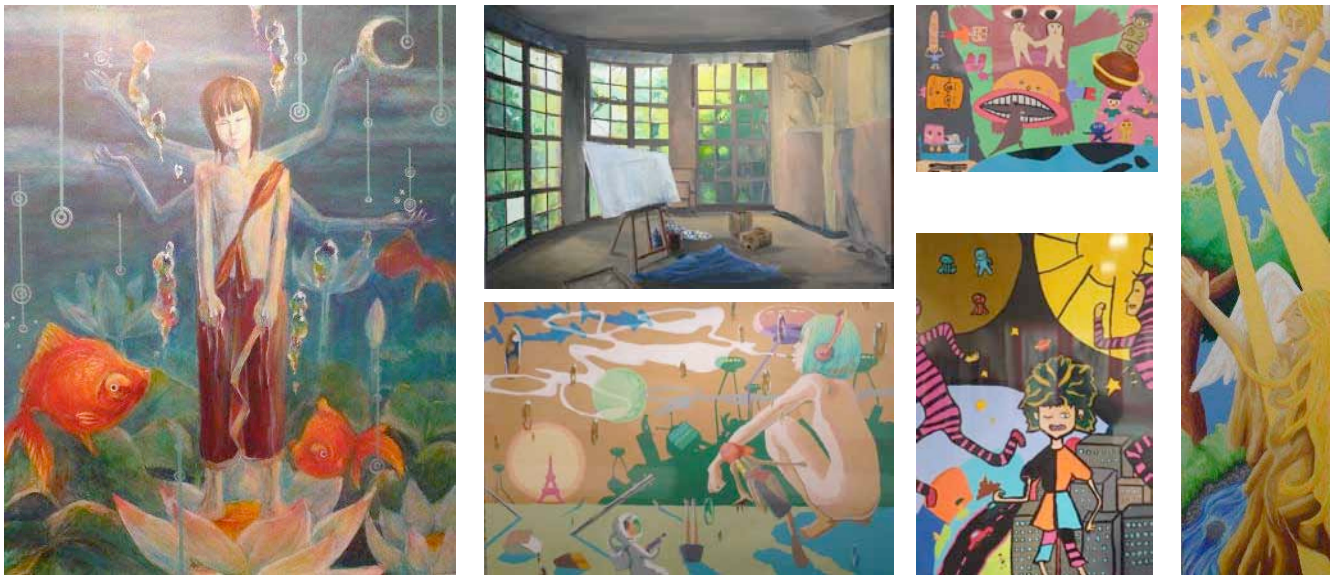
音楽選択生によるオープニングコンサート

近年の取り組みについて

「南の風展」も前回で8回目を数える。昨年も多くの方々に見ていただき、無事終了することができた。オープニングコンサートでは大勢の観客の方々から盛大な拍手をいただき、また、展示作品に対しても励ましの言葉をたくさんいただくことができ生徒たちにとって大きな自信になったのではないかと確信している。その中から近年の7回及び8回、美術と工芸の作品について授業での取り組みを紹介する。

●美術での取り組み

美術では平面を中心に作品に取り組ませている。1年次には構図や色彩の基本、絵画技法を中心に小品を制作させる。2、3年次は1年次に習得した技術を活用し作品に取り組ませる。画材は授業における作業性を考慮し、アクリル絵の具を中心に使用しているが、生徒の特性によってはそのほかの画材も活用している。3年次ではテーマを決めて大作に1、2学期を費やし取り組ませる。サイズはB1以上の作品を目標としている。



●工芸での取り組み

工芸では基本的に実用をテーマに作品に取り組ませる。1年次、2年次には、様々な課題制作を通じて基礎的な技術を身につける。特に丁寧な作業を積み重ねることで作品の完成度を高めていくことを理解させる。3年次には、1、2年次に体験したことをもとに、南の風展に出品する作品を決定し取り組ませる。7回（前々回）は木材を使用した家具製作に取り組み、8回（前回）は陶芸に取り組み作品を完成させた。

